



**「ユーラシアは一つ」「心はいつも旅する」「生きるというのほとにかくいらいにとだ」
シベリア抑留をシベリア留学と受け止めた人：加藤九祚（初代ユーラシアンクラブ名誉会長）**

—2016年9月12日、中央アジアで仏教僧院遺跡発掘中に逝去 94歳—

**【ユーラシアンクラブ創設 30周年を機に新名誉会長は、
服部英二・元ユネスコ文化担当特別事業部長にお願いし、快諾されました。】**



服部英二さんは1973年から20年間、パリのユネスコ本部で主席広報官、文化担当特別事業部長などを歴任、「シルクロード・対話の道総合調査」を企画実施、世界遺産の原点となった「人類の共有遺産」、「文明間の対話」、「文化の多様性」など平和へのメッセージを発信し続け1994年ユネスコ退官後もマイヨール事務局長顧問、松浦晃一郎事務局長官房特別参与として活動した。1986年から発足させた「科学と文化の対話」シンポジウム・シリーズの集大成を1995年に国連大学で開催、2005年パリ・ユネスコ本部から「文明間に通底する価値」を世界に発信した。フランス共和国から学術功労章パルム・アカデミック・オフィシエ位を受勲。加藤九祚先生には上記シルクロード調査の諮問委員を依頼、「加藤先生は人類史における中央アジアの空白を埋めた人」と敬意を表している。「タジク・ソグドの黄金遺宝」日本語版では「秘められたシルクロード」のサブタイトルを提案し、本書の意義を明確にした。

【ユーラシアンクラブ創設 30周年（2023年2月10日）記念事業】

I 「加藤九祚記念館の設置」 加藤九祚記念館設置協力者、設置委員、協力委員を募集します

II 歴史・文化・多様性に敬意を

—国家民族宗教を超えて、ユーラシア・アジアの共生、自然との共生を模索する—

特定非営利活動法人ユーラシアンクラブ 名誉会長 服部英二

会長大野遼 理事長江藤セデカ

【ユーラシアンクラブ創設 30周年（2023年2月10日）記念事業】案

I 加藤九祚記念館設置プロジェクト 3210；ユーラシアの人と文化の理解親睦協力の促進

顕彰碑は今後1年をかけて段階的に設置、整備する。

第一期目標：2023年5月18日（加藤九祚先生101歳の誕生日）をめどに今後の活動・プロジェクトの枠組みを構築

加藤九祚記念館とは；世間によくあるメモリアル施設ではない。加藤九祚先生は、シベリア抑留をシベリア留学と受け止めて、「ユーラシアは一つ」とユーラシア学、シルクロード学を提唱し、①1980年代半ば、加藤九祚先生が核となって加藤晋平筑波大学教授、佐々木高明国立民族学博物館館長、坪井清足奈文研所長、田中琢埋蔵文化財センター長、松本秀雄大阪医科大学学長、江上波夫東京大学名誉会長、田村晃一青山学院大学教授、藤本強東京大学文学部長、大林太良東京大学名誉教授らと北方ユーラシア学会を創設、アルタイ山脈ではパジリク王墓日ソ共同調査実現、豆満江河口にある渤海港湾遺跡の発掘に道を開き、②自ら国際シルクロード学アカデミーを立ち上げ、中央アジアでは日本人として初めて、仏教遺跡（キルギスのクラスナヤレーチカ、ウズベキスタンのダルヴェルジンテパ、カラテパ）を発掘、③晩年『一人雑誌アイハヌム』を11年間発刊し続け、④後進の研究者の学術調査の道を整備、多くの日本人にシベリア、中央アジア、シルクロード理解促進に貢献した。私たちは、多くの人から愛されて、ユーラシアの人と文化をつないだ加藤九祚先生の心を継承し、人と文化の理解親睦協力の促進を模索して活動する施設として設置する。

加藤九祚記念館のある場所；成田空港と筑波大学の間に位置し、旧常陸国の国府から12キロ南東の霞ヶ浦（佐我の海）湖岸（古くは海岸）に位置し、東海道の終点常陸国信太郡（茨城県稲敷郡）の榎浦の駅家、香取神宮、鹿島神宮を臨み、冬至の翌朝の太陽が霞ヶ浦東岸から昇り、西岸に沈み、富士山や牛久の大仏が夕日に浮かぶ景勝地にある。中央アジアに加藤九祚記念碑を設置する心が存在しなかったことから、大野遼が3年前に施設を購入、友人の援助で整備を続けている。人類の未来を模索し、活動するのにふさわしい場所である。

加藤九祚記念館の顕彰碑を完成する；2月10日のユーラシアンクラブ創設30周年を節目として、霞ヶ浦に臨み、太陽が燦爛と注ぐ記念館前の芝生に「加藤九祚顕彰碑」「加藤九祚記念館掲揚碑」、記念館ホール入口の「加藤九祚記念館横看板」を設置する。今後1年をかけて段階的に自力で建設することを目指します。並行して記念館協力支援者を募集します。①支援者は顕彰碑に氏名を記載し、返礼品として、②加藤九祚先生が名誉監修者として加藤先生亡き後6年がかりで2022年発刊された「秘められたシルクロード タジク・ソグドの黄金遺宝 ソグド人パミールから奈良へ」日本語版(A4版460頁総カラー、著者ハムロホン・ザリフィ/タジキスタン共和国前駐日大使・元外務大臣、発行NPOユーラシアンクラブ、限定300冊、1冊1万1千円)と②大野遼執筆の「日本語版別冊特集」(32頁)1冊、③陶工柳澤光晴製作美濃焼一点(残品僅少先着順)、④大野遼編集「岩に刻まれた古代美術 アムール河の少数民族の聖地シカチ・アリヤン展解説図録」1冊(115頁)を、ユーラシア史・アジア史理解に役立つ資料として提供します。

II 加藤九祚記念館の運営と活動のビジョン；歴史・文化・多様性に敬意を

今後、「加藤九祚記念館」設置のために3年前に取得した茨城県かすみがうら市牛渡の施設(500㎡)を「特定非営利活動法人ユーラシアンクラブ本部」とし、

① 「加藤九祚記念館」の顕彰碑、記念碑の設置、運営に取り組み、

1) ユーラシアと日本をつないだ加藤九祚・国立民族学博物館名誉教授を顕彰する

加藤九祚名誉会長を継承する次期名誉会長に服部英二元ユネスコ事務総長特別顧問(ユネスコの大シルクロード対話の道総合調査プロジェクト企画実施責任者)に委嘱。加藤九祚記念館協力委員に、吉田憲司国立民族学博物館館長、須藤健一国立民族学博物館前館長、佐々木史郎国立アイヌ民族博物館長ら10数人をお願いして、ご意見を伺いながら顕彰活動を模索する。

2) 国家民族宗教を超えて、人と異文化に敬意を表し、ユーラシア・アジアの理解促進、共生を模索する。

1993年2月10日九段会館での国際会議で発足以降、30年に及ぶ様々な活動を踏まえて、記念館を活動の中心に据えて、地道な活動を積み重ねます。<http://eurasianclub.org/>

3) 「昔があるから今がある」「人や異文化への思いやり」を活動の基盤とする。

狭小なナショナリズムには謙虚さやブレーキが必要で、人と文化の共生と平和を希求して活動します。

4) 今年を、アフガニスタンの自立支援の第一期と位置付けて、活動を模索する

② オンライン塾「アジア共生塾」の開始、「アジアの通信社」、「アジア・シルクロード文化村」の設置を模索

—「アジア」があって「ユーラシア」が成立した植民地時代の近現代史を顧みて、人と文化の共生を模索する—

ラピスラズリロード、シルクロード、テンの道、民族興亡と東西南北の人の接触混交を経た人類史の今、多様性に敬意を表する活動を模索し努力します。

③ 「常陸国＝日高見国(日出国)」の風土記研究会を立ち上げる

—東海道と東山道の要に位置した霞ヶ浦から見える日本史、アジア史を考える—

【加藤九祚記念館設置委員】設置委員は、本部に記念館を設置、運営を行う/設置委員の写真は最終頁

服部英二：ユーラシアンクラブ名誉会長

(元ユネスコ事務総長特別顧問；ユネスコの大シルクロード対話の道総合調査プロジェクト企画実施責任者)

大野遼：ユーラシアンクラブ会長(元メディア記者、北方ユーラシア学会創設理事・事務局長)

江藤セデカ：ユーラシアンクラブ理事長(イーグル・アフガン復興協会理事長)

井口隆太郎：ユーラシアンクラブ副会長(榊井口産業代表)

浦川治造：ユーラシアンクラブ副理事長(東京アイヌ協会名誉会長)

バーボルド：ユーラシアンクラブ副理事長(ウェルネススポーツ大学教授、モンゴル・ブフクラブ会長)

【加藤九祚記念館協力委員】 協力委員は、記念館の活動に助言、協力します

吉田憲司：国立民族学博物館館長
須藤健一：国立民族学博物館名誉教授（国立民族学博物館前館長）
佐々木史郎：国立アイヌ民族博物館館長
伊東一郎：早稲田大学名誉教授（ロシア・ウクライナ研究者）
浦城幾代：井上靖記念文化財団専務理事
藤本和喜夫：大阪大学名誉教授（元大阪経済法科大学学長）
橋本強司：レックス・インターナショナル会長
関根正男：アフガニスタン文化研究所会員
黛泰次：日本ロシア協会常任理事・事務局長
佐々木三知夫・秋田日ロ協会理事長
塚田昌弘・元宇都宮市市議会議長
野口昇・野口研材商会相談役
増渕宏和・増渕石材商店代表取締役
長谷川賢太郎・さがみ水産代表取締役
桜井謙治・霞ヶ浦漁業協同組合かすみがうら支部長（前霞ヶ浦漁協副組合長）
千葉隆司・かすみがうら市歴史博物館館長
藤井雅敏・アグリ藤井代表取締役
鈴木文雄・鈴木水産前代表取締役



- ※ **【加藤九祚顕彰碑の設置場所**；目の前に広がる霞ヶ浦、旧常陸国信太郡（茨城県旧稲敷郡）
- ※ （右下に加藤九祚顕彰碑を設置します）



写真左が東：朝陽を臨む、右が西；夕日に浮かぶ富士山、牛久大仏が浮かぶ

特定非営利活動法人ユーラシアンクラブ

名誉会長 服部英二 会長 大野遼 理事長 江藤セデカ

住所 茨城県かすみがうら市牛渡 1796-1

電話 029-869-8349 Fax 029-886-8903

ホームページ <http://eurasianclub.org/> メールアドレス paf02266@nifty.ne.jp 携帯電話 090-3814-5322（大野遼）

江藤セデカ



冬至の日の翌朝の朝陽に向かって設置したい、「加藤九作顕彰碑」(案)

服部英二



加藤九作



加藤九作(九さん)は
アジアの誇り

大野 遼



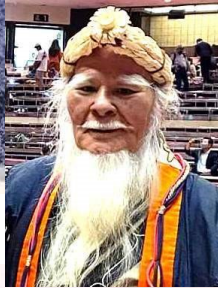
井口隆太郎



バーボルド

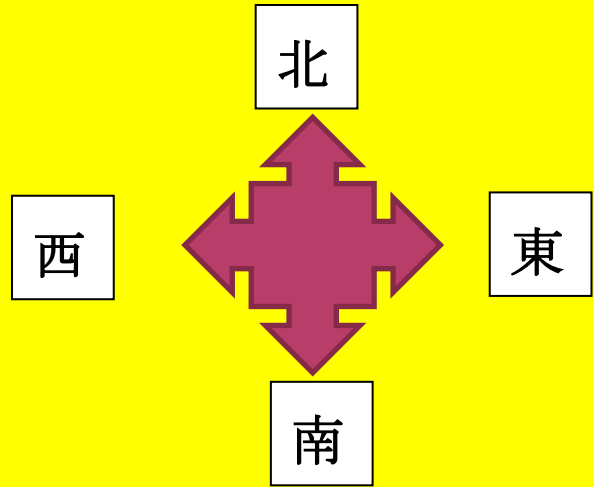
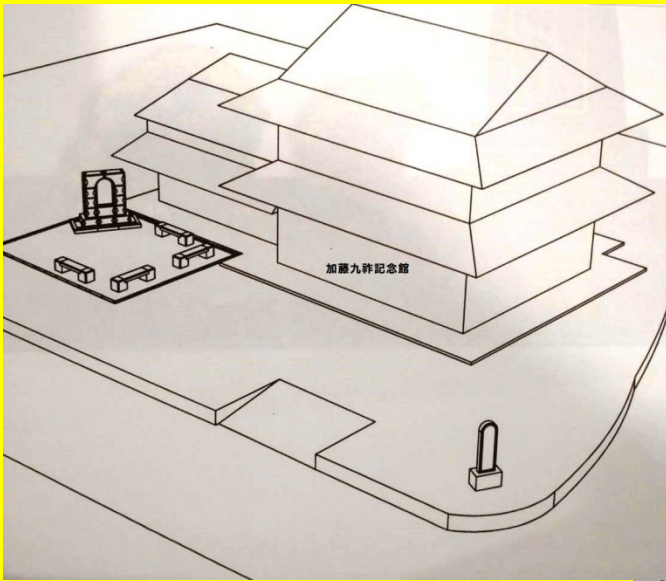


浦川治造



「ユーラシアは一つ」/加藤九作
国家民族宗教の境を超えて多様性に敬意を!

▶加藤九作/九さんの顕彰碑建設に支援をお願いします◀



朝陽



夕日

